

第1章

調査研究概要

第1章 調査研究概要

1. 事業実施目的

「日本再興戦略」改訂2014（平成26年6月24日閣議決定）において、外国人技能実習制度の下で移転すべき技能として介護分野の追加について検討すべきとされたことを受け、厚生労働省内に「外国人介護人材受入れの在り方に関する検討会」が設置され、平成27年2月4日に中間まとめが取り纏められた。また、「産業競争力の強化に関する実行計画」（2015年版（平成27年2月10日閣議決定）及び2016年版（平成28年2月5日閣議決定）において、質の担保等、介護サービスの特性に基づく要請に対応できるよう具体的な制度設計を進め、技能実習制度の見直しの詳細が確定した段階で、介護サービスの特性に基づく要請に対応できることを確認の上、新たな技能実習制度の施行と同時に対象職種への追加を行うこととされている。

外国人技能実習制度に職種を追加するには、実習の成果が評価できる公的評価システムがあることが求められており、介護サービスの質を確保しつつ、技能実習生に対し適切に技能移転を図ることのできる技能評価システムを確立することを目的として、当該システムのあり方等に関する検討を行った。

2. 実施体制

本事業では、評価項目の検討や外国人技能実習生に対し技能が移転されているかを評価するためのシステムを検討するにあたり、介護の現場の職業能力の評価における知見、評価・試験に関する知見、介護分野の日本語指導に関する知見等を有する専門家・識者等で構成される「検討委員会」を設置した。また、同様に「評価基準検討ワーキンググループ」を設置し、評価項目の作成・検討等を実施することによって委員会での検討課題とその論点を事前整理した。検討委員会では、ワーキンググループの検討結果を受けて、検討を行った。

(1) 検討委員会・評価基準検討ワーキンググループ名簿

【検討委員会】(◎：委員長、委員五十音順、敬称略)

◎小山 秀夫	兵庫県立大学大学院 経営研究科 教授
石本 淳也	公益社団法人日本介護福祉士会 会長
北浦 正行	公益財団法人日本生産性本部 参与
筒井 孝子	兵庫県立大学大学院 経営研究科 教授
角田 隆	公益社団法人国際厚生事業団 専務理事
橋本 由紀江	一般社団法人国際交流&日本語支援Y 代表理事
原口 恭彦	広島大学大学院 社会科学研究科 教授
平川 博之	医療法人社団光生会 理事長

【評価基準検討ワーキンググループ】(◎：座長、委員五十音順、敬称略)

◎田中 彰子	横浜創英大学 看護学部 看護学科 教授
大冢賀 政昭	国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部 研究員
木下 隆志	芦屋学園短期大学 幼児教育学科 准教授
白井 孝子	東京福祉専門学校 副学校長
高木 憲司	和洋女子大学 家政学群 家政福祉学類 准教授
中村 春基	一般社団法人日本作業療法士協会 会長
藤井 祐介	社会福祉法人信愛報恩会 本部人材開発室 主任
松下 能万	公益社団法人日本介護福祉士会 事務局次長

(2) 検討委員会・評価基準検討ワーキンググループの開催

【検討委員会】

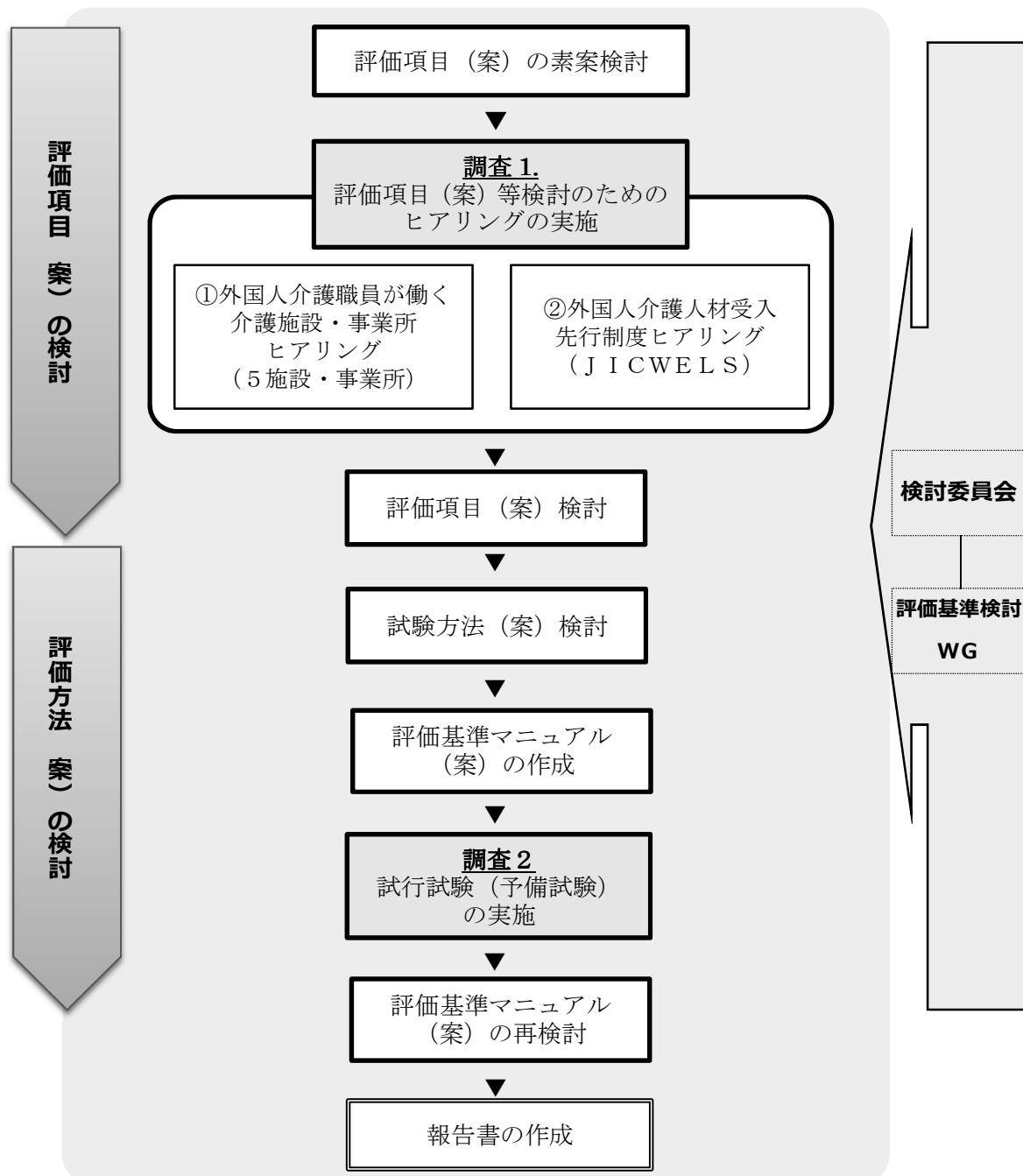
回	検討内容	日時
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の概要説明、外国人技能実習制度に関する法律案の説明 ・ 評価試験にあたっての論点整理 <ul style="list-style-type: none"> - 試験実施方法について - 評価の考え方の整理等について - 各段階のレベル設定について 	平成28年12月1日 10:30～12:30
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実技試験実施方法について <ul style="list-style-type: none"> - 実技試験の対象 - 試験の実施場所 - 試験評価者の選定 	平成28年12月22日 10:00～12:00
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価基準と評価方法について 	平成29年1月26日 10:30～13:30
第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価基準検討WGの検討結果の報告 ・ 検討委員会における意見のとりまとめ 	平成29年3月6日 14:00～17:00

【評価基準検討ワーキンググループ】

回	検討内容	日時
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の概要説明、外国人技能実習制度に関する法律案の説明 ・ 介護技術に関する評価項目たたき台案の提示 	平成28年11月21日 10:00～12:00
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 試験の対象とする項目の仕分け（必須業務、関連業務、周辺業務） ・ 項目の追加や細分化の検討 	平成28年12月19日 10:00～12:00
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技能実習で対象とする場合の「介護」のイメージと考え方の整理 ・ 試験の対象とする項目の検討 ・ 年度ごとの実技試験範囲（到達点）の検討 ・ サービス種別によって評価できない項目の検討 ・ 禁忌事項の取り扱いについて 	平成29年1月10日 16:00～18:00
第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必須業務（実技試験範囲）項目ごとの判断基準作成と項目の整理 ・ 施設の環境に関する項目追加とICFとの整理について検討 	平成29年2月2日 15:00～18:00
第5回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必須業務以外の評価項目（学科試験範囲）の項目ごとの判断基準作成と項目の整理 ・ 試行試験（予備試験）を受けて、実技試験実施方法や項目の検討 	平成29年2月28日 15:00～18:00

3. 実施内容

本事業の実施フローは以下の通り。



調査1：外国人介護職員が働く介護施設・事業所へは、外国人介護職員の採用や教育体制、行っている介護行為の内容（特に身体介護について）等のヒアリングを実施した。JICWELSへは、EPAに基づく介護福祉士候補者の制度概要や学習支援等についてヒアリングを実施した。

調査2：外国人介護職員が働く介護施設にて、検討を行った評価システムや評価項目について試行試験（予備試験）を実施した。